



別院職員にてお勤め

# 宗祖降誕会

## ～コロナ禍のため規模を縮小して修行～

緊急事態宣言発出中であった五  
月二十四日、本願寺神戸別院本堂  
にて、宗祖降誕会が修行された。  
法要修行に際して、新型コロ  
ナウイルス（COVID-19）  
による感染症により修行するか  
否かの慎重な議論が重ねられた。  
その結果、親鸞聖人のご誕生を  
慶讃する法要であるため欠かす  
ことが出来ないとの思いから修行  
されることが決定された。

修行に際しては、感染症拡大  
を憂慮し、「三密」を避ける対応  
が取られた。他寺院から奏楽員  
として出勤される方にはご遠慮  
いただき、さらに、ご講師をお招  
きしてのご法話についても取り  
止めとなり聴聞する大切なご縁  
を見送るという誠に残念なこと



第 55 号

発行所

浄土真宗本願寺派 本願寺神戸別院  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号

Tel: 078-341-5949

になつた。それに対し、ご法話の代  
わりとして、平成三十年にご門主様  
が発布された「私たちのちかい」につ  
いて、平易な表現でその味わいが綴  
られた書籍『私たちのちかい』の味  
わい』が全門徒に送付された。

また、参拝については発熱がある方、  
体調不良の方はご参拝をお控えいただ  
き、マスク着用等の感染症予防に心が  
けて参拝されるよう呼びかけられた。

当時は、別院職員八名、参拝者五  
名でのお勤めとなつた。

今法要是、昨年度まで長らく別院  
輪番を務めた杉本正信輪番が定年退  
職されたことにより、新たに本願寺  
札幌別院から中尾了信輪番が就任さ  
れ着任後初めての法要是となつた。

新たな輪番を迎えての法要是であつ  
たが、例年通り『正信念仏偈作法』

が勤められた。

降誕会法要是、今から約八五十年  
前の二七三年に浄土真宗の開祖であ  
る親鸞聖人がご誕生されたことをお祝  
いする法要である。宗祖親鸞聖人は、  
九十歳の人生で、娑婆世界に生きる私  
たちは、煩悩にとらわれて阿弥陀如来  
は目を背けがちである私たちに対して  
南無阿弥陀仏というお念佛を通して真  
実の道を伝えてくださった方である。

新型コロナウイルスによって、日本  
国内のみならず、世界中で先行きの見  
垣間見られた。非日常なことが起ころ  
と人間は眞実の道を見失つてしまふ。  
そのような私たちに対して阿弥陀さま  
は「南無阿弥陀仏」の喚(よ)び声をもつ  
て、眞実に導こうと常にはたらきかけ  
てくださっている。その道理を、明らか  
にされた親鸞聖人のご功績を改めて  
感じさせられたご法要是となつた。

## 親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要

Joint Celebration

850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth &amp; 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月)  
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)第3期 4月24日(月)～4月29日(土)  
第4期 5月6日(土)～5月11日(木)  
第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day

親鸞聖人のご命日です ご参拝ください

浄土真宗本願寺派  
龍谷山 本願寺

令和二年四月一日付にて

## 杉本正信輪番退任（定年退職） 本願寺札幌別院から中尾了信輪番就任



杉本正信輪番  
退任の挨拶



中尾了信輪番  
就任の挨拶

慈光照護のもと、本願寺神戸別院のご門徒の皆さまには、愈々ご健勝にてご法義ご相続のこと大慶に存じあげます。

さて、皆様方のご支援ご協力またお育てによりまして、五年間努めさせていただきました本願寺神戸別院輪番を四月一日付で退任させて頂きました。

在任中には、ご門主様の法統継承や伝灯奉告法要のご縁を賜り、多くの方が神戸別院にも団体にて参拝いたいこと、また恒例法要としては初めてのご門主様ご親修による報恩講法要を勤めさせて頂いたこと等々、思いで深い行事や事業に携われたこと誠に有り難く尊いご縁がありました。

長いようでアツという間の五年間でありました。今後は自坊に帰りまして、ご法義繁盛に努めて参りたいと思つております。

最後になりましたが、在任中には、一方ならぬご支援ご協力を賜りましたことに対し深甚の謝意を申しあげ、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

合掌

本年四月一日付の人事異動により、北の街「札幌」から港町「神戸」に寄せていただきました。「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讚法要」を三年後に控えた大事な時期を、皆さんとともにお念佛繁盛に勤めてまいりますので、ご教導・ご鞭撻を賜ります様よろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルス感染症により、緊急事態宣言が出され、自粛生活で皆さん方の日常も大きく変化しました。集まることも声を出すことも遠慮するような状況です。また、七月豪雨で九州を中心に大きな被害が出ています。避難所も密にならないよう考へられています。

そのような中ではありますが、この変化に応じた寺院活動の在り方や、布教伝道の方法を皆さんとともに考えさせていただき、微力ではありますかが本願寺神戸別院の発展に努めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

合掌



節折

く中で仏説阿弥陀経のお勤めが行われた。節折とは、拍子木のようないふ一本一組の唐木(紫檀や黒檀など)

ど)で出来た打物で、数人以上が一緒に經典を読誦するとき、読經の速度を調整するために用いられる。打ち方は、巾が広い面を内側にして、両手で各一本ずつ根元の部分をかるく持ち、交差させず平行にして先端を打ち合わせる。

打つ個所は、經題の初字には打たず、經文の同音から各句の初字の發音と同時に一打する。

コロナ禍での参拝者が少なく例年とは違った法要となつたが、僧侶の讀經及び節折の音が、永代に亘り一人でも多くの人に浄土真宗のみ教えが伝わるようとの願いとして聞こえた法要であった。

慈光照護のもと、本願寺神戸別院のご門徒の皆さまには、愈々ご健勝にてご法義ご相続のこと大慶に存じあげます。

さて、皆様方のご支援ご協力またお育てによりまして、五年間努めさせていただきました本願寺神戸別院輪番を四月一日付で退任させて頂きました。

在任中には、ご門主様の法統継承や伝灯奉告法要のご縁を賜り、多くの方が神戸別院にも団体にて参拝いたいこと、また恒例法要としては初めてのご門主様ご親修による報恩講法要を勤めさせて頂いたこと等々、思いで深い行事や事業に携われたこと誠に有り難く尊いご縁がありました。

本年四月一日付の人事異動により、北の街「札幌」から港町「神戸」に寄せていただきました。「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讚法要」を三年後に控えた大事な時期を、皆さんとともにお念佛繁盛に勤めてまいりますので、ご教導・ご鞭撻を賜ります様よろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルス感染症により、緊急事態宣言が出され、自粛生活で皆さん方の日常も大きく変化しました。集まることも声を出すことも遠慮するような状況です。また、七月豪雨で九州を中心大きな被害が出ています。避難所も密にならないよう考へられています。

そのような中ではありますが、この変化に応じた寺院活動の在り方や、布教伝道の方法を皆さんとともに考えさせていただき、微力ではありますかが本願寺神戸別院の発展に努めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



中尾了信輪番  
就任の挨拶

令和二年度「永代経法要」が、六月二十八日(日)に修行された。例年は、多くの門信徒の方が参拝をされていましたが、宗祖降誕会に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より規模を縮小しての法要となつた。

法要に先立つて、前日に、別院若手僧侶にて本堂に向かつて左側の余間に掛けてある七高僧の御影が、向かって右側の余間にある聖徳太子御影の隣へと移され、永代経懇志を進納された故人の法名を記載した「法名軸」が左側の余間に奉獻された。

当日々、蒸し暑い梅雨の空であつたが、十名ほどの参拝者となつた。午後二時とともに喚鐘が鳴り「永代経法要」が始まつた。中尾了信輪番導師のもと別院職員八名が出勤し節折の鳴り響き出でています。避難所も密にならないよう考へられています。

そのような中ではありますが、ここの変化に応じた寺院活動の在り方や、布教伝道の方法を皆さんとともに考えさせていただき、微力ではありますかが本願寺神戸別院の発展に努めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



聖徳太子御影・七高僧の御影

## 永代経法要

## 兵庫・岡山テレホン法話集

### 「お母ちゃんからの手紙」

揖保郡 善導寺

天野 真隆

私たち、色々な出来事に振り回されて不安な毎日を生きるために、私たちにかけられている阿弥陀様の願いに気づけています。

しかし、そんな私たちを決してあきらめることなく願い続け、はたらきかけてくださっている方がいらっしゃいます。その方は阿弥陀様という仏様であります。

先日、ある親子の手紙に出遇いました。そしてその手紙を通して「阿弥陀様の願い」に改めて気づかせて頂きました。今回のご縁はその事をお話をしたいと思います。

今から紹介する手紙は幼い子どもをこの世に残して先に往生されたお母さんが子どもにしたためた手紙であります。

「けんちゃん、うまれてまもないあなたを残して死なねばならないかも

しないお母ちゃんを許して下さい。だんだん大きくなつてあなたは、お父ちゃん、お母ちゃんがどうして死んだのかは、人様から聞くことでしょう。だからそれは書きません。

お母ちゃんはかねてから心臓の衰

弱が激しいので、いつ死ぬかわかりません。だから、この手紙をあなたに書き残しておきます。

沢山の人様のお陰で成長していくでしょうねならぬでしよう。でも、一緒に泣いてやることが出来ないかと思うと、はらわたがちぎれるよう思います。

今は、何も知らないで寝ているけんちゃんの顔をみていると、お母ちゃんは、石にかじりついても、けんちゃんが一人前の人間になるまで生きてやりたい。

胃腸の弱いけんちゃんを丈夫な子に育てたい。たとえお母ちゃんが死んでも、世間の人様に迷惑をかけない人間になつて下さい。お母ちゃんはそれだけを願っています。

お母ちゃんは死んでもけんちゃんのそばを離れません。つらいことや悲しいことがあつたら、お母ちゃんと呼んでください。きっとけんちゃんのそばにあります。この手紙をお母ちゃんと思って下さい。

外はまた、雪が降り出しました。くれぐれも身体に気をつけて下さい。

さようなら けんちゃん  
けんちゃんの母より

（）七八・三四・八五六六番にて、兵庫

教区青年僧侶の会で作られた三分程度のテレホン法話が配信されています。

ご視聴ください。（電話料金はご負担ください。）

※過去に配信されたご法話を掲載いたしました。

その事であつたのでしょうか。手紙を読む頃の彼はどうと大変されていて、手がつけられなかつたそうであります。

そのような時、亡くなつた母親が残した手紙が見つかつたのです。彼は読み終えた後「知らんかった。知らんかった」と大きな声で言いました。そして

そのあと涙が枯れるまで泣き続けたそうです。

母親の本当の願いを知った彼は安心をし、今は強く明るく生きています

そうであります。阿弥陀様の願いは、南無阿弥陀仏のお念仏となつて「いつもどこでもどんなときも必ず仏にするよ」と私に呼び通しに呼びかけて下さるのであります。

私たち、色々な仏縁を通してその願いを知り、慈しみの心と安心を頂くのであります。

色々な出来事に遭遇しながらも阿弥陀様の願いを知らされた私たちは一日、一日いのちを経ていくまで一生懸命強く明るく生き抜く事を手紙を通して改め深く味あわせて頂いたことになりました。



別院内にて、左記のような取り組みをいたしました。ご来院の際はご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。



本堂には、消毒液を設置



受付には、ビニールの壁を設置

### コロナ対策の取り組み紹介

# 法座案内

8月

1日～3日 7時から

## 曉天講座

- 1日目 講師・尾野智行師  
(たつの市西福寺)  
2日目 講師・藤田眞哲師  
(神戸市慈照寺)  
3日目 講師・山西昭義師  
(神戸市光明寺)

15日 13時30分から

## 盂蘭盆会

- 講師・中尾了信  
(本願寺神戸別院輪番)

## 第一土曜仏教講座

各回とも 13時30分から15時30分開講

8月1日 第1回 仏教とは何か

（人間シッダールタと仏陀釈尊）

9月5日 第2回 釈尊の伝道と弟子たち

（経典誕生までのドラマ）

10月3日 第3回 親鸞聖人の苦悩

（生死出づべき道を求めて）

11月7日 第4回 生涯の師・法然聖人

（天才と愚者）

受講については、事前申込不要

1講座 1,000円となります

ご来院の際は、マスクの着用等の感染症予防に努めてお越しください。

## お盆のお参りのお知らせ

**2020(令和2)年 お盆のお参り期間:**

**8月11日(火)～8月15日(土)**

はがきにてご案内いたしますので、日程にご都合がつかない場合はご連絡ください。

**TEL 078-341-5949 (本願寺神戸別院・モダン寺)**

### お盆期間～本堂のお勤めのご案内～

本堂で別院門徒様向けのお盆のお参りを行います。自宅のお盆のお参りに都合がつかない方、これまでお寺にお参りする機会が少なかった方、納骨所をお持ちの方は、ぜひ神戸別院へお参りください。

**期間 8月11日(火)～8月14日(金)の4日間 (※15日は14時から盂蘭盆会を修行)**  
**時間 11時～、14時～ の1日2回(20分程度)**

※希望される方は、開始15分前を目途に本堂へお越しください。

※ご懇志のご進納をお願いいたします。事前にお申込みいただく必要はありません。

※過去帳をご持参いただきましたら、ご仏前へ奉獻してお勤めいたします。



### 職員退職のお知らせ

二〇〇七(平成十九)年から  
二〇一九(令和元)年までの十  
二年二ヶ月の間、当院に勤務さ  
れた池田燈承仕が昨年十二月三  
十一日を以て退職いたしました。

今年の四月より本願寺神戸  
別院でお世話になつております。  
七月より別院仏教婦人会・  
仏教仏社会・モダン寺子ども  
会を主に担当させていただい  
ております。若輩者ではござ  
いますが、今後ともどうぞよ  
ろしくお願いいたします。



おか 岡 いたる 至 氏

### 新入職員ご紹介